

第24回

昔話を楽しむ 九州沖縄交流会 熊本大会



語り継ごう ふるさとのことばを 昔話を おはなしの楽しみを!

期日

2010年 8月 2日

日(月)

11時30分〈受付開始〉～3日

12時30分〈開演〉

日(火) 10時〈開会〉

会場

熊本全日空ホテルニュースカイ(2F)

熊本市東阿弥陀寺町2 ☎096-354-2111

ゲスト

小野和子 君川みち子 田中千代野

参加費

大人 1,000 円 高校生以下無料 (8月3日は無料)

レセプション参加費：中学生以上 5,000 円

小学生 2,500 円



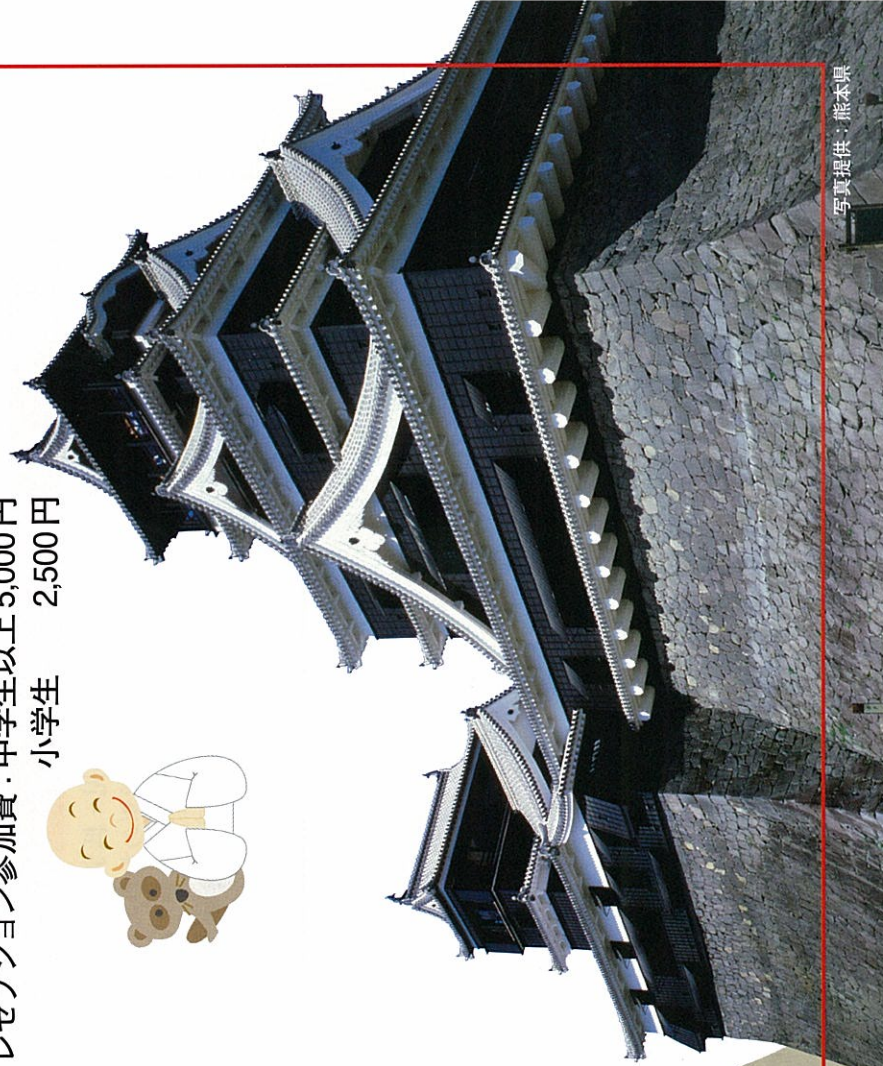
[主催]

昔話を楽しむ
九州沖縄交流会
世話人会

第24回 昔話を楽しむ
九州沖縄交流会
熊本大会実行委員会

[後援]

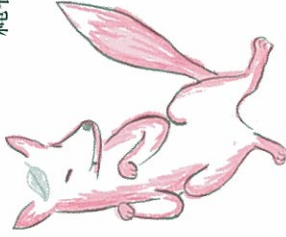
熊本県教育委員会・熊本市教育委員
会・熊本県文化協会・熊本日日新聞社・
NHK熊本放送局・RKK・TKU・KKT・
FMK・KAB各局・熊本県保育協議会・
熊本県保育協会・熊本市保育園連盟・
熊本県私立幼稚園連合会



❖ ごあいさつ

皆様いかがお過ごしですか。この夏、第24回昔話を楽しむ九州沖縄交流会を、熊本で開催することになりました。ぜひ皆様にご参加いただきたいと思います。ご案内申し上げます。

「昔話を楽しむ九州沖縄交流会」は、1987年10月、九州各県の語り手が熊本に集い、熊本子ども本の研究会5周年記念事業および国民文化祭協賛事業として、第1回目を熊本で開催いたしました。以来、九州沖縄各県持ち回りで毎年開催してきました。今回は、4巡目のスタートになります。



毎年、九州沖縄のみならず全国からたくさんの方の語り手、そしてお話を聴くのが大好きな方々が一堂に会し、お話を通して交流を深めております。昔話を、ふるさとのことばを語り継ぎ、お話を楽しもうという趣旨です。

この機会に、昔話と共に熊本の街を、名所旧跡散策の旅をお楽しみください。実行委員一同お待ちしております。

昔話を楽しむ九州沖縄交流会世話人会
第24回昔話を楽しむ九州沖縄交流会熊本大会

代表 横田幸子
実行委員長 大江捷也

❖ スケジュール

1日目	2010年8月2日(月) 11:30~受付
12:30~13:00	オープニング • 神楽「柴曳き」波野小学校こども神楽部
13:05~13:20	開会式
13:25~14:10	語りの世界 • 「金の髪」他 語り手 田中千代野 • 「寒い山」他 語り手 君川みち子
14:15~16:00	基調講演 * 民話採訪の旅から「私の出会った語り手たち」 講師 小野和子
16:30~18:30	レセプション (参加者交流夕食会・希望者のみ) • 朗読劇「彦市ばなし」熊本朗読研究会 • 各県参加者紹介・会食
夜の会話会	①日本の昔話の部屋 ゲスト 君川みち子 ②外国の昔話の部屋 ゲスト 田中千代野 ③小道具と創作のお話の部屋
21:30~23:30	夜なべ語り (心ゆくまで語り合います)
2日目	8月3日(火)
10:00~11:45	子どものための会話 ①幼児・低学年のためのお話の部屋 ②中学年のためのお話の部屋 ③高学年・中学生のためのお話の部屋
12:00	解散

❖ 「お話会」で語ってみませんか

交流会では、「お話会」で語ってくださった方を大歓迎しています。「ドキドキしちゃいそう、失敗したらどうしよう…」、そんな心配はありません。皆さん、お話の好きな人ばかり、楽しく語り、聴き、お話ししましょう。申込書に「お話し名」などの必要事項を記入の上、お申し込みください。なお、お話は15分以内のものでお願いします。皆さんのご参加をお待ちしております。



* 「基調講演」の間、別室にて、「子どものための昔遊びの部屋」(幼児・小学生対象)を実施します (要申し込み)

❖ ゲストプロフィール



小野和子

岐阜県高山市生まれ。東京女子大学日本文学専攻卒業。1970年から宮城県を中心に東北地方の民話採集をはじめ、多数の民話を聞き書きする。現在、みやぎ民話の会顧問、日本民話の会運営委員。民話の編著書に『みちのく民話まんだら』(北燈社)、『宮城県の民話』(宮城県教育委員会)他。児童書に『かたらげた』(ほるぷ出版)、創作『ちんぷいぶいんどいでいけ』(汐文社)。宮城県在住。



君川みち子

出演は東京芸術劇場、武蔵野芸術劇場など。ひとり語りも静岡、群馬、栃木県など各地で行っている。ほおずきの会代表・NPO法人「語り手たちの会」理事。東京都在住。

山形県寒河江市生まれ。祖父の昔話を聞いて育つ。1982年から、図書館、学校、学童保育、幼稚園で話や外国の昔話などを語るほか、山形弁の話や大人にも話っている。舞台演出は、舞台



田中千代野

小・中学校で「お話会」をし、PTA主催の絵本を使っての「人権教育講演会」、家庭教育講師、保育士、教師への絵本講座講師などを務める。2006年、文部科学大臣賞個人表彰を受ける。西宮市在住。

おほなしきやん どの主宰。1986年から、宝塚図書館ボランティアとして、ストーリーテリング、読み聞かせなどをスタート。1990年、おほなしきやんどるを結成。保育所、幼稚園、

❖参加お申し込みについて

❖下申込書にご記入の上、FAXでお申し込みください。グループでお申し込みの場合も、個人の住所、氏名、電話番号を必ずご記入ください。「お話し会」語り手、「昔遊び」も申し込みが必要です。

申込先：昔話を楽しむ九州沖繩交流会熊本大会事務局

FAX096-382-5090

❖お申し込みと共に、参加費、レセプション費を下記の郵便振替口座にてお振り込みください。

口座番号：01710-3-148574

加入者名：昔話を楽しむ九州沖繩交流会熊本大会

申込締め切り：7月2日(金)

❖キャンセルは、7月2日(水)までです。それ以降の返金は出来ませんので、ご了承ください。

❖参加費・宿泊について

参加費：大人1,000円 高校生以下無料
レセプション参加費：
大人(中学生以上) 5,000円
小学生2,500円 幼児無料

❖宿泊(熊本全日空ホテルニュースカイ)は参加と合わせて、お申し込みください。

宿泊費：大人6,500円 子ども3,500円
(ツインまたはトリプル・1泊朝食付)

*宿泊費は、当日、全体会受付の際、**「宿泊受付」**にて各自お支払ください。前泊、後泊も同様です。

*部屋数に限りがありますので、早めにお申し込みください。

↓ FAX 096-382-5090 ↓

第24回 昔話を楽しむ九州沖繩交流会熊本大会申込書 (FAXでご送信ください)

グループでお申し込みの場合も、必ず個人の住所・氏名・電話番号をご記入ください

氏名 (年齢・性別)・住所・電話番号	参加費	レセプション	宿泊	グループ名
氏名 (歳 / 男 / 女)	円	大人 5,000円 小学生2,500円	大人 6,500円 子ども3,500円 (前泊・当日・後泊)	
住所 〒				
氏名 (歳 / 男 / 女)	円	大人 5,000円 小学生2,500円	大人 6,500円 子ども3,500円 (前泊・当日・後泊)	
住所 〒				
氏名 (歳 / 男 / 女)	円	大人 5,000円 小学生2,500円	大人 6,500円 子ども3,500円 (前泊・当日・後泊)	
住所 〒				
氏名 (歳 / 男 / 女)	円	大人 5,000円 小学生2,500円	大人 6,500円 子ども3,500円 (前泊・当日・後泊)	
住所 〒				
小計	円	円		
合計	円	円		

※参加費ですが、高校生以下は無料ですので0円、大人は1000円と記入してください。レセプションは該当するものに○をつけてください。

※宿泊は、前泊・当日泊・後泊がわかるように○をつけてください。

❖「子どものための昔遊び」申込欄(幼児・小学生対象)

氏名	年齢
	歳
	歳
	歳

❖「お話し会」でぜひ語ってください (15分以内でお願いします)

氏名	
お話し名 (時間 分)	(時間 分)
出典	
形態	語り・絵本・パネル・紙芝居・その他 ()
希望「お話し会」	<input type="checkbox"/> 「夜のお話し会」(8/2 19時～)
	<input type="checkbox"/> 「子どものためのお話し会」(8/3 10時～)

事務局記入欄

申込日	2010年 月 日
受付No.	

※「夜のお話し会」か「子どものためのお話し会」か、お好きな時間を選んでいただけますが、ご希望に添えない場合もあります。

子どもゆめ基金助成事業

第24回

昔話を楽しむ 九州沖縄交流会 熊本大会

報告集

期日

2010年8月2日

日

月

11時30分〈受付開始〉

12時30分〈開演〉

～3日

火

10時〈開会〉

12時〈解散〉

会場

熊本全日空ホテルニュースカイ(2F)

[主催]

昔話を楽しむ九州沖縄交流会世話人会

第24回 昔話を楽しむ九州沖縄交流会熊本大会実行委員会

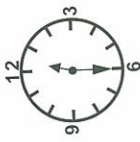
[後援]

熊本県教育委員会・熊本市教育委員会・熊本県文化協会・熊本日日新聞社・NHK熊本放送局・RKK・TKU・KKT・FMK・KAB各局・熊本県保育協議会・熊本県保育協会・熊本市保育園連盟・熊本県私立幼稚園連合

(写真提供：熊本県)

第24回昔話を楽しむ九州沖繩交流会 熊本大会 日程表

8月2日(月)



オープニング

神楽「柴曳き」 波野小学校子ども神楽部



阿蘇・波野小学校の子どもたちに
よる神楽「柴曳き」

開会式

主催者挨拶： 横田幸子
 来賓のご挨拶： 吉丸良治氏
 祝辞祝電披露： 浦島郁夫氏 (熊本県知事)
 幸山政史氏 (熊本市長) 浦原タツエさん



語りの世界

田中千代野さん 「金の髪」「にんじんケーキ」
 君川みち子さん 「寒い山」「歳」

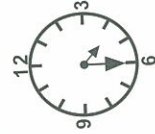
基調講演

小野和子さん 民話探訪の旅から「私の出会った語り手たち」

※子どものための昔遊びの部屋

基調講演の間、幼児、小学生向けに開かれました。

休 憩 (30分間)



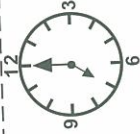
レセプション

朗読劇：「彦市ばなし」 熊本朗読研究会の皆様
 実行委員長挨拶：大江捷也
 各県の紹介
 会食



おいしい料理で和やかな雰囲気

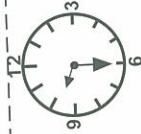
休 憩 (30分間)



夜のお話会

- ①日本の昔話の部屋 (1) ゲスト：君川みち子さん
- ②日本の昔話の部屋 (2) ゲスト：君川みち子さん
- ③外国の昔話の部屋 ゲスト：田中千代野さん
- ④小道具と創作のお話の部屋 ゲスト：田中千代野さん

休 憩 (30分間)



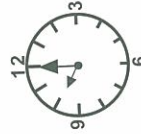
夜なべ語り

21:30から23:00まで語り合いました



夜のお話会の語り手と
大人り満員の会場

8月3日(火)



子どものお話会

ゲスト：君川みち子さん・田中千代野さん

- ①幼児・低学年のためのお話の部屋
- ②中学年のためのお話の部屋
- ③高学年・中学生のためのお話の部屋



解散

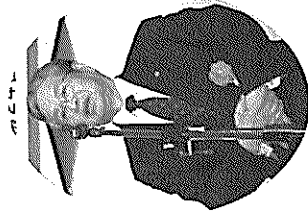


子ども達もお話に聞き入っていました

歓迎の言葉

熊本県文化協会副会長

吉丸良治氏



みなさん、こんにちは。今日はじつは、熊本県の文化協会長の小堀富夫さんがおいでになる予定でしたけれども、どうしても都合がつかないということで、私は副会長でございますが、大変僣越ではございますが、みなさんを歓迎のつもりで、一言ご挨拶申し上げます。

じつは今、私も波野の神楽を拝見しながら、本当にこの伝統をこうやって守るといことが、どんなにすばらしいかという、あの、大人の神楽を今まで何回か、波野の方も拝見致しましたけれども、この、子どもさん達がやっているのを、ほんと私も、はじめて拝見して、涙がでるほど、ああすばらしいなと、これからこうやって、受け継いでいってもらうことがどんなにすばしいかということを実感いたしましたし、おそろしくこれは、また皆さん方のそれぞれ今回は九州各地からですね、あるいは、本州からもまた、お出でいただいているそうでございますが、おそろしく、それぞれすばらしい伝承の芸能等があると思います。ぜひ、それをお互いに守っていくことが、日本の文化を守る、日本の社会を守る。そういうことではないかなと、そういう風な感じがいたしております。

今回はじつは、各九州沖繩を巡回されて、4回目ということを聞いてまいりました。今回24回ということでございますが、長いこと続いております。横田幸子さんが、熊本で本場にいつも頑張っておられますが、スタートは、熊本子ども本の研究会5周年の時、九州の皆さん方をご案内して交流した、ということが始まりだということ聞いておりました。それから、九州各県で担当していただいでですね、こんなに1巡、2巡するだけでも大変なのに、もう、4回目の巡回になつてきたということでございます。もう、すばらしい。本当にそのこと自体がすばらしいことであるし、ご参加いただいている九州各県のみなさん方のなんといましようか、志の高さ、あるいは強さ、また絆、そして多くのみなさん方のその情熱みたいなものをつくづく感じます。こうやって語り継がれてきた昔話というのは、本当にその中にぬくもりがあり、あるいは人の情があり、そういうことがおそろしく聞いている子ども達も必ず、同様に受け止めて、そしてそれが宝物となって、どんどん成長していくくはなからうかな、という気がしてなりません。

で、じつは、大変あの本當僣越ですが、私も小さい頃は、戦後でなかなか幼稚園もない、図書館もない、何も無い、もう田舎の方でしたので、ありませんでしたけれども、たまたま、私も、祖父が本場に話し好きといますか、たいへん話し好きでございましたし、で、寝る時はほんとう、もう、いつも一緒というか、そういうことで、寝床に入ってから、昔話をですね、毎晩のようにもう、それが日課で、いつの間にか眠ってしまうということがほんとに日課みだいでしたけれども、その時、何回も聞いているうちに「あつ、次はこれができるな」ということがわかるんだけれども、やっぱりだまって聞いているというか。

しかし、それが60年経ってもなんかしら、ふしぶしを忘れていないというのはいったいなんだらうかとおもうくらい、そういう感じがいたしますが、みなさんがこうやって続けておられることが、ある面ではどんなにすばらしい子どもさん達の財産になっていくかかもしれません。ぜひ、これからもがんばっていただきたいと、そういう気持ちでいっばいです。(中略)

ともあれ、みなさん方のこういう動きといいますか、本場に子ども達の将来のことを考えながら、そして、日本に伝わってきた昔話、地域の昔話、これをですね語り継いでいかれるということは、大変すばらしいこととあります。これが今、4巡目に入ったそうでございますが、5巡、6巡といえますが、もともと、これからみなさん方のご活躍が続いていくことを心から祈念してやみます。ぜひ、本大会が大成功に、みなさん方が満足してお帰りできるように成功を祈念してごあいさつと致します。本日はおめでとうございます。

御礼の言葉

昔話を楽しむ九州沖繩交流会世話人会代表

横田幸子



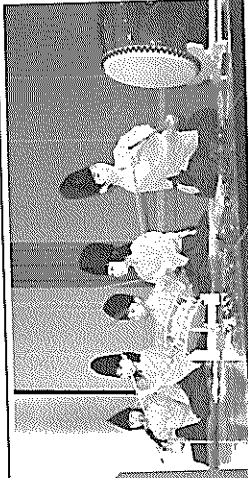
第24回昔話を楽しむ九州沖繩交流会熊本大会開催に際しましては、ご尽力いただきました団体、個人の皆様、そして当日ご参加くださいました皆様方に厚く御礼申し上げます。

おかげさまで600人を越える皆様をお迎えすることができ、皆様方の素晴らしい笑顔が溢れ、とても和やかな雰囲気になりました。会場は、熊本全日空ホテルニュースカイスの2階ワンフロアで、全体会、レセプション、お話し会全てを実施いたしましたので、移動が楽で大変好評でした。全体会では、オーブニングの子ども神楽の熱演に参加者一同感動、田中千代野さんと君川みち子さんの語り、小野和子先生のご講演と、深い感銘を受けました。その後のレセプションでの交流、そしてお話し会は、たくさんのお聞き手でいづれのお部屋も溢れました。素晴らしい語り手、聞き手に感謝いたしております。ありがとうございました。

子ども神楽

オープニングは阿蘇市・波野小学校の5・6年生による子ども神楽「柴曳き」。舞も雅楽もすべて子どもたちで、素晴らしい神楽でした。

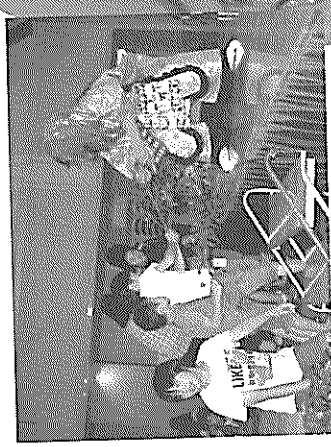
阿蘇市立波野小学校 子ども神楽部



神楽は、太鼓と笛の音から始まりました。



客席の子どもを抱いて。



客席の子どもたちも一緒に柴曳きに参加



会場を回ってお払いをしました



語りの世界

お二人の暖かい語りの世界に、会場の皆さんは引き込まれ、ほろっとときたり笑ったり・・・素敵な一時でした。

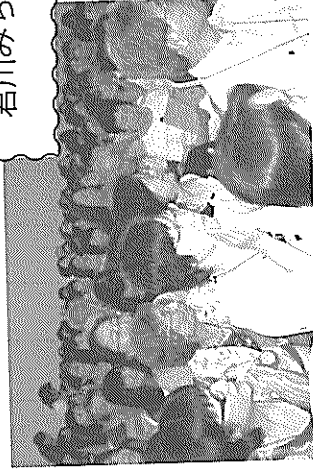
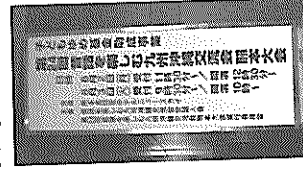


山形弁を交えて語ってくださる
君川みち子さん



語り手
田中千代野さん 「金の髪」「にんじんケーキ」
君川みち子さん 「寒い山」「歳」

真っ赤なワンピースが印象的な
田中千代野さん



満員の聴衆は語りの世界に引き込まれました



司会者
藍田さん



民話探訪の旅から「私の出会った語り手たち」 小野和子さん



東北でおじいさんやおばあさんを訪ねて民話を記録する事を43年ほどやって参りましたので、今日は、その事を聞いて頂きたいと思えます。昭和9年生まれの私は子どもの頃「本を読むことは悪い事だ」と言われ

るばかりでなく、その本さえ殆どありませんでした。私は子どもの時に本が読めなかつた分、大学に入って童話ばかり読んでいました。卒業後は更に名も無い人達が語り継いできた昔話の世界に強い力で引きずり込まれました。

私が民話を聞き歩く事に引き込まれて行ってきたきっかけは、私が住んでいる仙台に民話絵本を作るサークルがあり、一冊の民話絵本を書く事に取り組んだ事でした。そこで宮城県登米郡南方におられた明治42年生まれの永浦誠喜さんと出会いました。永浦さんはおばあさんから昔話を聞いたそうです。名も無く山や海辺で誠実に自分の人生を送ってきた人達が火を点すようにして語りの世界を紡いでいた、深い思いと力と面白さが潜んでいる事を、折に触れて感じさせてもらいました。永浦さんの274話の昔話は、上・中・下巻に分けて残す事が出来ました。どんな立派な建物や箱物を残す事よりも大きい民族の遺産だと密かに誇りに思っています。

私は民話が面白くてその奥知れなさを知る事になるのですが、きっかけになったのが栗駒山の麓で出会った92歳の佐藤ヤチヨさんでした。私の民話の原点なので、民話の話をする時にはまずこの話をさせていただいています。その日も民話はろくに聞けず「そろそろ帰らなきゃならないな」と思っていた時にヤチヨおばあさんに会いました。「おばあさん、仙台から来てるんですけど昔話覚えていたら教えて下さい。」と言ったら「なんだ、桃太郎の桃がどんぶらとかしよも無い話聞くために仙台から来たのか？随分あなたも暇な人だね」と笑われ「おれは、小学校も家が貧しくて行けなかつた。近所に昔話の上手なおばあちゃんがいるので昔話を聞いた。学校さも行かれねえから、一生懸命おばあさんの所へ行つて昔話聞いてそれがおれの学校だったんだ。だから、おら話いっぱい覚えてるよ」と言つて話を聞かせてくれました。3回目に行ったのは、11月3日の文化の日でした。帰りがけに大事そうに行き先から一冊の本を出して私の前に置かれました。「おら、子ども四人とも戦争で死んだし、家・財産つうような物もなく弟の子どもの家に身を寄せている。良い着物一枚着

た事も無くこの歳までできた。おれ死んでも何も残らねえなと思つたらあんたがおれが大好きで覚えていた昔話を聞きに来て一生懸命書いていったのが嬉しい。おれ死んでも何にも残らねえと思つていったのに話が残る。この本を見たら、おれの事思い出してくれ。おれの形見だ。」と言われました。そこまで言われると断りきれなくてこの本を頂いて来ました。(絵本『赤穂義士誠忠画鑑』を見せる。そんな古いものではないが、形は草双紙の横型絵本)

4回目に行った時、本当に形見になっておばあさんが亡くなつてしまいました。おばあさんの話が私の手元に残ったのです。これは民話の一番本質的な姿ではないかと思えます。形にして残すべきものを持たなかつた人達が周りにいる未来を生きる者達に、つづがない道を歩いてもらいたい気持ちから、世の中を生きていく上での心得や色んなものを託して民話にして語つたんですね。おばあさんの姿から民話はそうやって残ってきたものだからこそ一つ一つの話は大切にされなければいけないと教わりました。ヤチヨおばあさんは『さるの嫁ご』の語が大好きでした。

三回目にこの話を聞いた時、サルは悪い事してないし川に流されれば詩まで詠んで娘の行く末を案じるのに娘はなんて酷いのだろう。「何だかサルがかわいそうだね。」と言いましたら、びっくりして「おれはそんな事考えた事なかつた」と。16の時に嫁に行つたらやかましい姑さまがおられ、実家で身に付けた全部を捨て、自分を立て直して来た。時々辛くて家へ帰りたくて山道を下りて来るのですが途中で足が止まる。「おれは長女で、出戻りだと弟妹の縁談に差し支える。おれが戻つたら母ちゃん泣く、おれさえ泣けばそれでいい」と川の昔に負けないように泣いて。こういう話を聞いて私はサルが可愛そうだと云つた事が恥ずかしくなりました。おばあさんは一回も実家に逃げ帰れなかつたのに物語の娘は家へ帰つて来た。これはおばあさんがやりたいのにやれなかつた事だと思ふんです。サルが可愛そうと自分の浅はかな物指で聞いていた事が恥ずかしくなり、おばあさんがこの話を好きな背後には、暮らしの重みがずしりと宿っている事を感じました。民話は語つて下さつた方の暮らし丸ごと話と一緒にもらつてきて、その立体感の中で話を私達が実感していく所に大切なカギがあると思えます。

更に聞き手からそっぽ向かれても話したほうが良い話もあるのではないかと思います。遠野の宮守村におられた佐々木健さんという方との出会いがあり150くらい宮守の昔話を聞きました。2003年に、宮守村と遠野市の合併話が出た時に宮守の村長さんが先祖から語り継がれてきた話を村人たちに手渡したいと願われました。そういう関

係の中で宮守村の選曹部におられた佐々木トモさんに巡り会いました。そこは山奥にあり、昔は寒冷地で何も取れず何せ食い物のない貧しい村だったから物食うような年頃になると子どもは旦那殿の所へ馬追いにやられたり、手に職をつけるためによその村へ追い出され村に残れなかったそうです。

トモさんの語る民話50話程を一冊の本に編む事になり、トモさんの所に行きました。そして「話でも何でもいないんだから出さないでおいだけここに引っ掛かっているものが一つあるんだ」と胸を指し、『おじいさんとおばあさんのまわりつき』という話をしてくださいました。

深い谷間に一軒の家があって、おじいさんとおばあさんが二人つきりで暮らし茶の間で鞠を打って遊んでいた。鞠を飛ばしたら追いかけていけないで飯食べて寝てしまった。その鞠を拾った雑魚つりの男はそれを持って行って金儲けした。この村では多くの人たちは自分の子どもを手放していた。このあたりでは昭和の初め頃まで「娘身売り相談窓口」があったそうです。この話を背景に見直してみると、歌をうたいながら鞠をついていたおじいさんとおばあさんは手放した娘を偲び歌っていたかもしれない。一度手放した娘はその後色々な人の手に渡って色々な人の金儲けの材料にされたのかもしれない。一つの話は深い現実を根を下ろしているのかもしれないのになぜか心を打つ。

ある時、民語って不思議な力を持ち、人の心を掴む事があると実感させられた事がありました。家庭でも問題があり、学校でも友達とうまくいかない、先生とも折り合いが悪くなかなか教室に行けない中学2年生の男の子の事でした。ある日カウンセラーの先生のすすめで珍しく教室へ行ったら、すぐ体を震わせながら戻ってきました。行ったら先生の顔や自分にいつも意地悪する友達が人間の顔に見えなくなったり恐ろしくなったりすぐ教室から出てきたので。それで先生は『おおかみのまつげ』の話を少年に話そうです。《とても仲の悪いおじいさんとおばあさんがいて、おじいさんは「役立たず」と毎日おばあさんに罵られていたので「こうやって年とっていくのも悲しいな、いつその事オオカミに食われて死んだほうが役に立つかもしれない」と考えた。おじいさんは西山行つてオオカミに「俺を食ってくれ」と頼むと「なんだお前は真っ当な正直なじいいでねえか。真っ当な正直者はおれはよう食わねえ」と言われ、今度は南山に次は東山にそして北山にも頼みに行つたが同じ事言つてオオカミは食ってくれなかったが、北山のオオカミが自分のまつげ取つて「こいつかざしてみ

て見れ」とくれた。そのまつげかざしておばあさんを見てみたら体は人間だったが顔は古雉鳥だった。村一番の知恵者の和尚さまを見たら顔はサルだった。色んな人を見ただれど人間だった人は一人も見当たらなかった。》

そして少年に「あなたも、もしかしたら真っ当な正直者のおじいさんのようにおおかみのまつげ持って見て来てたんじゃないの?」と言ったら少年は非常に静かな顔をして教室を出て行ったそうです。この話が少年の心を打ったんですね。捉えたいんです。私たち先祖は「昔、昔ね」って語りながら子どもたちを休ませてきた。一人の少年のために先生は一生懸命語った。これが語りの非常に現象的な一番大事な姿を表現しているのだと思います。一つの話は何



か説明のつかない力で人を癒える。それは私達の先祖がさまざまないを込めながら話を伝えてきた根の深さがあるからだと思います。

ここで少し話は変わりますが、北国の寂しい風土を背景にしながら非常に美しい胸に訴えてくる作品を書かれる作家で水上勉さんという人がいます。その作品の中に『鬼のやま水—現代民話集』(小学館)があり、その中に「剛かくし」という話があります。

これは福井県の若狭の海岸にあるドライブインのご主人から聞いた話で友達の大工の青年がやがて結婚する娘さんを連れてやって来たそうです。そして「又来るからね」って呻を出さきり二人の姿が村から消えたと。姿を消す理由も無い二人がどうしてどこかに行つたんだらうと不思議な神隠しの話として水上さんに話してくれたそうです。気が付かれた方もいるかと思いますが、この状況は三十年近く前に若狭の海から北朝鮮に拉致された、地村保志さんとその恋人の姿に一致するんです。神隠しなのかという不思議を残しながら人々はそれを語っていたら時間が経つ中でそれが北朝鮮による拉致だと分かったのです。この出来事の背後には拉致と言う現実の根があった事が今はつきり分かりました。私は数々の民話もこういう風に必ず現実の根を持つていたのではないかと思います。一つの話が秘めている力、面白さ、深さ、そういうものに触れ声に出して語る時何かが変わる。その事が語りを続けていく時に大切なのではないかといつも実感いたします。

皆さんがたたくさん語を語って下さる素晴らしい楽しい平和な時代だからこそ実現するこの行為を、より実り多いものにするため、周りの子ども達のためというより語る人自身の生きがいのため、生きていてこんなに深くさまざまな事を広げて知ることが出来た喜びと一緒に語りがなされたらどんなに先祖達は喜ぶかと思えます。

レセプション

ホテルのおいしいお食事を頂きながら、一年に一度の親睦を深めました。お食事には熊本名物の「タイビーエン」も出されました。各県の紹介は短い時間ながら、個性が出ていて楽しかったですね。



お土産のしおり

参加者人数 大人 235 人 子ども 23 人



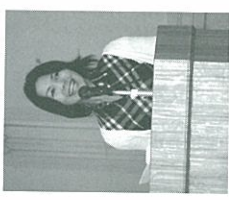
朗読劇「彦市はなし」 熊本朗読研究会の皆様



挨拶を述べる
実行委員長の大江捷也氏



子どもたちのテーブル。いろんな地域から集まっています。



司会の本田さん



テーブルの花



会場の様子



ゲストのテーブル

小野さん(右)と横田さん

お島の紹介



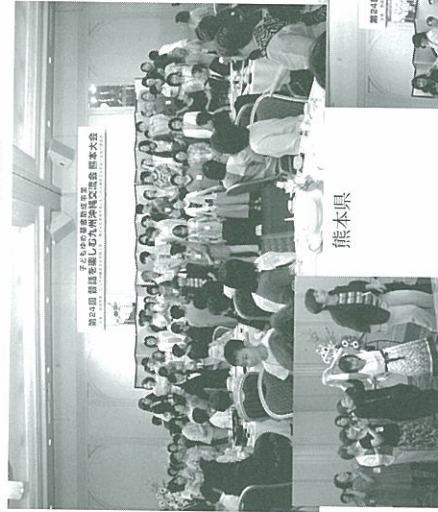
長崎県



佐賀県



福岡県



熊本県

駒を渡しながら、熊本県の登場です



熊本から次回の開催地 鹿児島県へ



大分県



鹿児島県



宮崎県

本州からの皆さん

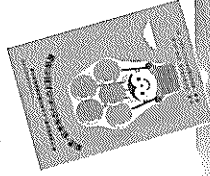
子どものためのお話し会

幼児と低学年のためのお話し会



子どもたちもたくさん来ていました。

大盛況でした
参加者人数
大人 181人
子ども 62人



担当 おはなしの会 ぱぴぷぺぽ

お話し	語り手	県
しゃんけんの好きな王様	君川みち子	ゲスト
おしゃれこ どんぐり	"	"
ねずみの嫁入り (指人形)	田本真智子	長崎県
ゆるぎ唇の鬼	加藤寿美代	熊本県
あめたろう	魚返サツ子	大分県
ふしぎなたいこ	雷田イサ子	福岡県
肩どん・附どん (手遊び)	ぱぴぷぺぽ	熊本県
かえるのうた (ペープサート)	ぱぴぷぺぽ	熊本県

(休 憩)

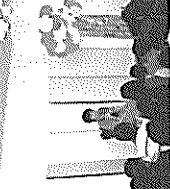
ねずみじょうど (エプロンシアター) 下吹越かおる
たからげた 河野 暁子 鹿児島県

金色とさかのおんどり 堀口早枝子 長崎県

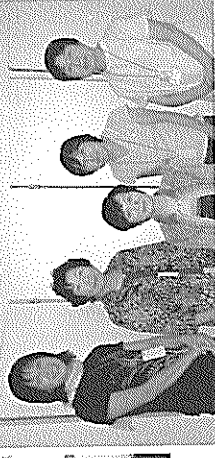
ひなどりとねこ 松村 和子 鹿児島県

けんちゃんとおバナナ 首藤 悦郎 熊本県

モモちゃんうまれたとき 田中千代野 大分県



ゲストの君川さんと語り手の皆さん

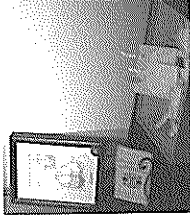


中学年のためのお話し会 担当 砂取小おはなしボランティア おはなしの森



皆さんそれぞれに面白いお話で、会場の笑いや共感を誘っていました。子ども達も終始一貫して静かに聞き入っていました。

参加者人数
大人 65人 子ども 32人

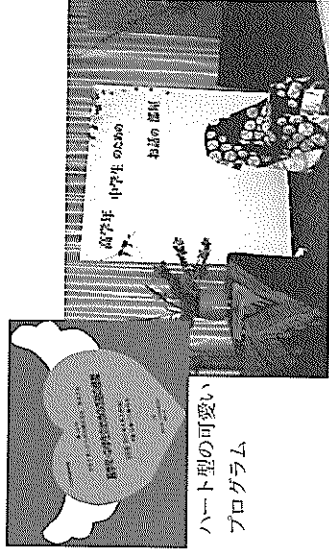


ゲストと語り手の皆さん



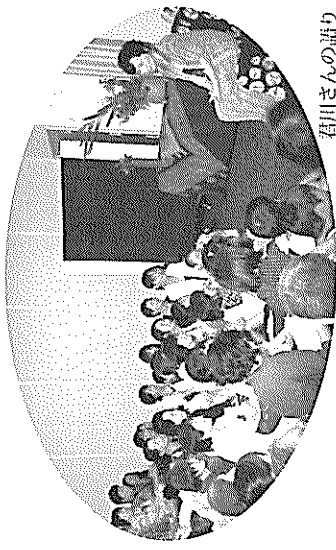
お話し	語り手	県
かにかに こそこそ	田中千代野	ゲスト
絵本『ひさの星』	中村 書子	長崎県
ほくほく権兵衛	弓削 樹莉	宮崎県
仙人のおしえ	甲斐 深雪	大阪府
おさるとぼうしうり	山路スミ子	奈良県
(休 憩)		
一休さん (人形)	定岡 慧子	熊本県
切株山	合原 正利	大分県
1・2・3の4の2の5 (手遊び)	吉朝 潤子	熊本県
ゆうかんな靴直し	吉朝 潤子	熊本県
お百姓とエンマさま	横井美佐子	佐賀県
シン・シン・ラモと月	君川みち子	ゲスト

高学年と中学生のためのお話し会の部屋 担当 しみずおはなし会「ふしぎふしぎ」



語り手の皆さん
ハート型の可愛い
プログラム

お話しは一つ一つ順
調に進み楽しい会
になりました。お
話のおもしろいと
ころでは笑い声が
聞こえました。
参加者人数
大人 124人
子ども 21人



語り手の皆さん

君川さんの語り



お話し	語り手	県
天とうざん念のくさり	松木 文枝	福岡県
黒いお姫さま	八尋 理恵	福岡県
「がみがみシアール」と少年	三品 式子	長崎県
三人の糸つむぎ女	池田 美喜子	佐賀県
つつじのむすめ	田中 千代野	ゲスト
	(休 憩)	
しゃっくり	君川 みち子	ゲスト
りこうなおささき	只木 好子	佐賀県
へぶりぐぐちよ	草野 三保子	福岡県
白いぞう	高津雅子	福岡県
ストレッチ		
納豆！(手遊び)		

夜なべ語り 担当 熊本子どもの本の研究会

夜なべ語りは2日の夜 9時30分から開かれ
ました。昼間君川さんが語った「歳」を鹿児島
の石神さんが鹿児島弁で見事に語られました。

参加者人数
大人 70人 子ども 1人



子どものための昔遊びの部屋



担当 熊本子どもの本の研究会
オレンジのとびら
小袖おはなしの会



2日、全体会の講堂の間、幼児、
小学生を対象に昔遊びの部屋が
開かれました。
参加者人数
子ども 53人 大人 10人

8月2日

開演前のロビーの様子、看板、お花の写真、受け付け係の皆さん。



子どもゆめ基金助成事業
第24回 言語を楽しむ九州沖縄交流会 熊本大会
 日時 8月2日(金) 受付 11時30分 / 開演 12時30分
 8月2日(土) 受付 9時30分 / 開演 10時30分
 会場 熊本県日語村小ホール101コートライ
 主催 熊本県日語村小ホール101コートライ
 協賛 熊本県福祉文化振興財団 熊本県立大学
 実行委員会 熊本県日語村小ホール101コートライ
 実行委員 熊本県日語村小ホール101コートライ



日本の音話の部屋②



熊本大会開催にご協力いただいたグループ紹介

熊本子ども本の研究会・ぐるんぼお話の会・おはなしサークル オレンジのとびら・小袖おはなしの会・おはなしアップル・荒尾第一小学
 校P.T.A お話大好きのおはなしの会びびるべぼ・らくがき・東部地区お話ボランティア・しみずおはなし会「ふしぎふしぎ」・砂取小学
 校おはなしボランティアおはなしの森・ハイジの会・おはなし会「ほわ〜っと」他たくさんの方々に協力いただきました。

2010年9月7日

熊本放送文化振興財団 御中

昔話を楽しむ九州沖縄交流会世話人会
代表 横田 幸



「第24回昔話を楽しむ九州沖縄交流会熊本大会」開催
実績報告書提出について

拝啓 時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

8月2日、3日の「第24回昔話を楽しむ九州沖縄交流会熊本大会」開催につきましては、10万円の事業助成金をいただきましてありがとうございます。

おかげさまで、600人を超える参加者があり、盛大に行うことができました。厚く御礼申し上げます。

昨日、実績報告集が出来上がりましたので、収支実績報告書と会報と共に送りたいします。これをもちまして、ご報告とさせていただきます。

ご査収よろしくお願いたします。

今後ともお力添えよろしくお願申し上げます。

敬具

問い合わせ先

熊本子ども本の研究会 096-382-5090

第24回 昔話を楽しむ九州沖縄交流会熊本大会 収支決算報告書

団体名	昔話を楽しむ九州沖縄交流会世話人会	
活動名	第24回 昔話を楽しむ九州沖縄交流会熊本大会	
支出	金額(円)	内 訳
謝金	301,000 円	講師：小野和子70,000円 君川みち子30,000円 田中千代野30,000円 子ども神楽20,000円 実行委員協力金：151,000円(2,000円×71人+1,000円×9人)
旅費・宿泊	254,600 円	講師交通費：85,820円(3人分)・ゲスト宿泊費：72,600円(3人分) 実行委員交通費：96,180円(16人分)
雑役務費	40,950 円	看板代40,950円
その他経費	1,037,281 円	会場費：511,361円 郵送・メール便代：145,170円 貸切マイクロバス(子ども神楽)：50,000円 印鑑代：6,332円 事務用品ほか材料費：67,687円 花代：12,873円 コピー代：6,706円 弁当・ペットボトル代：35,502円(実行委員昼食 110人分) 講師土産代：6,450円 印刷代：195,200円 (パンフレット20,000部+ポスター300枚+報告集700部)
経費合計	1,633,831 円	
レセプション	1,232,500 円	大人5,000円×236人=1,180,000円 子ども2,500円×21人=52,500円
支出総合計	2,866,331 円	

収入	金額(円)	積 算 内 訳
参加費・レセプション	1,756,500 円	参加費1,000円×524人=524,000円 高校生以下 無料 レセプション参加費：5000円×236人=1,180,000円 2,500円×21人=52,500円
子どもゆめ基金助成金 (内定)	800,000 円	
熊本放送文化振興財団	100,000 円	
公益信託熊日文化スホーツ 基金	150,000 円	
コンベンション協会(予定)	50,000 円	
総収入	2,856,500 円	

上記の通り 報告いたします。
平成22年9月7日

昔話を楽しむ九州沖縄交流会世話人会

会計

荒木充実



歓迎のご挨拶

ようこそ第24回昔話を楽しむ九州沖縄交流会熊本大会にお越しくださいましてありがとうございます。今回は、九州沖縄各県のみならず本州からもご参加いただき、500名を超える多くの方々をお迎えすることが出来ました。実行委員一同、大変嬉しく有難く感謝申し上げます。

それぞれの担当者は、楽しいお話になるように、そして、皆様楽しく交流を深めていただけたらと思います。創意工夫をいたしました。

暑い夏ですが、冷房のきいたお部屋で、お話をたっぷり楽しんでいただけたら幸いです。そして、夜なべ語りの時間には、どなたも心ゆくまで語ってくださいませんか。

熊本大会終了後は、どうぞ熊本のお楽しみください。

第24回昔話を楽しむ九州沖縄交流会熊本大会

実行委員一同

ゲストプロフィール

小野和子さん

岐阜県高山市生まれ。東京女子大学日本文学卒業。1970年から宮城県を中心に東北地方の民話採集をはじめ、多数の民話を聞き書きする。現在、みやぎ民話の顧問、日本民話の会運営委員。民話の編著書に『みちのく民話まんだら』(北燈社)、『宮城県の民話』(宮城県教育委員会)他。児童書に『たからげた』(ほるぷ出版)、創作『ちんぷいふいとんでいけ』(汐文社)。宮城県在住。

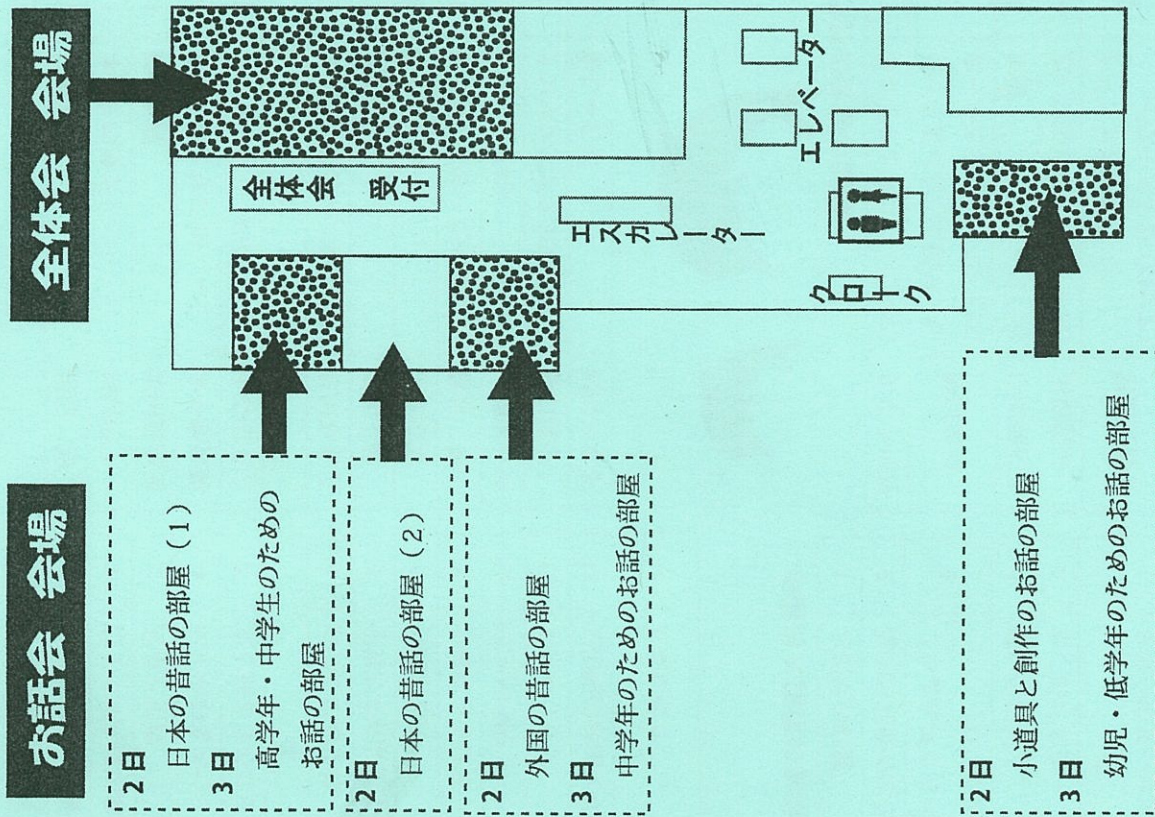
君川みち子さん

山形県寒河江市生まれ。祖父の昔話を聞いて育つ。1982年から、図書館、学校、学童保育、幼稚園で童話や外国の昔話などを語るほか、山形弁の話を大人にも語っている。舞台出演は東京芸術劇場、武蔵野芸術劇場など。ひとり語りも静岡、群馬、栃木県など各地で行っている。ほおずきの会代表・NPO法人「語り手たちの会」理事。東京都在住。

田中千代野さん

おはなしきょうどる主宰。1986年から、宝塚図書館ボランティアとして、ストーリーテリング、読み聞かせなどをスタート。1990年、おはなしきょうどるを結成。保育所、幼稚園、小・中学校でお話をし、PTA主催の絵本を使っての人權教育講演会、家庭教育講師、保育士、教師への絵本講座講師などを務める。2006年、文部科学大臣賞個人表彰を受ける。西宮市在住。

会場のご案内



第24回

昔話を

楽しむ

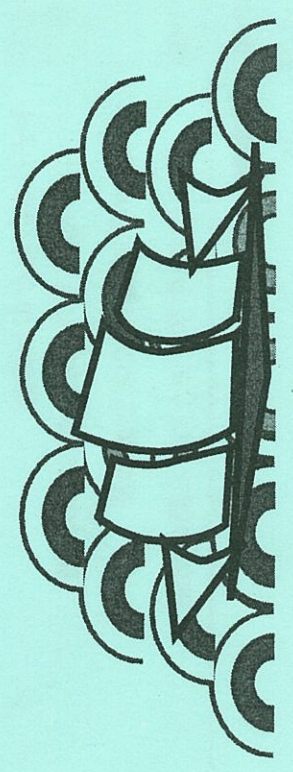
九州沖縄

交流会

熊本大会

日時：2010年8月2日(月)
3日(火)

会場：熊本全日空ホテルニースカイ



8月2日(月曜日)

- ◆ オープニング
神楽「柴曳き」
波野小学校こども神楽部
- ◆ 開会式
- ◆ 語りの世界
語り手：田中千代野さん
「金の髪」・「にんじんケーキ」
君川みち子さん
「寒い山」・「歳」
- ◆ 基調講演
講師：小野和子さん
民話探訪の旅から「私の出会った語り手たち」
- ◆ レセプション
朗読劇：「彦市ばなし」
熊本朗読研究会の皆様
各県参加者紹介
会食
- ◆ 夜のお話会
①日本の昔話の部屋(1) ゲスト：君川みち子さん
②日本の昔話の部屋(2) ゲスト：君川みち子さん
③外国の昔話の部屋 ゲスト：田中千代野さん
④小道具と創作のお話の部屋 ゲスト：田中千代野さん

◆ 夜なべ語り

(心ゆくまで語り合います)

8月3日(火曜日)

- ◆ 子どものためのお話会
①幼児・低学年のためのお話の部屋
②中学年のためのお話の部屋
③高学年・中学生のためのお話の部屋
- ◆ 解散

2日 夜のお話会

日本の昔話の部屋 (1)

1	三枚のお札	松浦 裕
2	ネズミの浄土	福宿玲子
3	絵姿女房	黒田真由美
4	さるのひとりごと	金子登久榮
5	ドンドンヒーローの話	永吉由美子
休 憩		
6	ネズミの見合い/桃太郎	君川みち子
7	女山峠	権藤千秋
8	蜂ん巣とり	黒木暎友
9	ゆうれいになつたへび	藤井 守
10	手なしむすめ	一柳より子
11	ナンマンダブツが馬百駄	橋口桂子
12	宝しゃもじ	君川みち子



世界の昔話の部屋

1	ひなざりとネコ (ビルマ)	田中千代野
2	やっちまったことはやっち まったこと (チェコ)	野口和夫
3	指輪 (スペイン)	宇藤歌奈子
4	黒いお姫さま (ドイツ)	土橋悦子
5	アリヨースシカと イワースシカ (ロシア)	富原美智子
休 憩		
6	かしこいモリー (イギリス)	本田ひろみ
7	妖精の丘が燃えている (アイルランド)	西村チエ子
8	プアグとプアグシ (アフリカ)	大隈栄子
9	りこうなおおさき (ルーマニア)	田口祐子
10	金色とさかのおんどり (ロシア)	田中千代野

日本の昔話の部屋 (2)

1	きつねのあん餅屋	君川みち子
2	ひょうすんぼの恩返し	那須道子
3	河童と相撲	江浜紀佐子
4	ねずみのもちつき	村上和子
5	犬と猫とうろこ玉	宮園智子
休 憩		
6	つつじのむすめ	伊佐理枝子
7	年寄りを山に捨てた話	原田俊子
8	吉四六さん	植田正幸
9	つるにようぼう	洲上晴美
10	琴ひきの松	赤澤照野
11	ボンポコリン	油布玲二
12	実相院のお話より「西田橋」	石神陽子
13	さるじぞう	塚本美代子 山下リツ子

小道具と創作のお話の部屋

1	おばけの家族	高木智香
2	梅津忠兵衛のはなし	倉岡寿雅子
3	「しよんぼりカバン」 「ひつじさん」	枝連明子
4	願いの指輪	梅田恵子
5	たこあげ大会	田中千代野
休 憩		
6	ミリーモリーマンデー おつかいにいく	山崎陽子
7	薊谷の乙女	金子加代子
8	うちの中のウシ	堤早百合
9	嘘発見器	太田理絵
10	一足の靴	石川文代
11	これはジャックの建てた家 (パネル)	内田裕美子



3日 子どものためのお話会

1	じゃんけんの好きな王様	君川みち子
2	おしゃれこ どんぐり	〃
3	ねずみの嫁入り (指人形)	田本真智子
4	ゆるぎ岳の鬼	加藤寿美代
5	あめたろう	魚返サツ子
6	ふしぎなたいこ	富田イサ子
休 憩		
7	ねずみじょうど	下吹越かおる
8	たからげた	河野 暁子
9	ついでにペロリ	中園ちづる
10	金色とさかのおんどり	堀口早枝子
11	けんちゃんとおバナナ	首藤悦爾
12	モモちゃんがうまれたとき	田中千代野

中学年のためのお話の部屋

1	かにかに こそこそ	田中千代野
2	絵本『ひさの星』	中村書子
3	ほくほく権兵衛	弓削樹莉
4	仙人のおしえ	甲斐深雪
5	おさるとぼうしうり	山路スミ子
休 憩		
6	一休さん(人形)	定岡蕙子
7	切株山	合原正利
8	ゆうかんな靴直し	吉朝潤子
9	お百姓とエンマさま	横井美佐子
10	シン・シン・ラモと月	君川みち子

高学年と中学生のためのお話の部屋

1	天とうさん金のくさり	松木文枝
2	黒いお姫さま	八尋理恵
3	「がみがみシアール」と少年	三品式子
4	三人の糸つむぎ女	池田美喜子
5	つつじのむすめ	田中千代野
休 憩		
6	しゃっくり	君川みち子
7	りこうなおおさき	只木好子
8	へふりぐつちよ	草野三保子
9	白いぞう	高津雅子

子どもゆめ基金助成事業

第24回

昔話を楽しむ九州沖繩交流会熊本大会

日時：2010年8月2日(月) 11:30(受付) 12:30(開演)
場所：熊本全日空ホテルニクスカイ(2F) (電話 096-354-2111)
参加費：1000円

主催：昔話を楽しむ九州沖繩交流会世話人会 / 第24回昔話を楽しむ九州沖繩交流会熊本大会実行委員会
問い合わせ：昔話を楽しむ九州沖繩交流会熊本大会事務局 電話：096-382-5090

No. 628



券

1000円

(高校生以下無料)

